

再稼働と汚染水問題

講師 小山英之 氏

(美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会 代表)

10/19(土) 13:30~

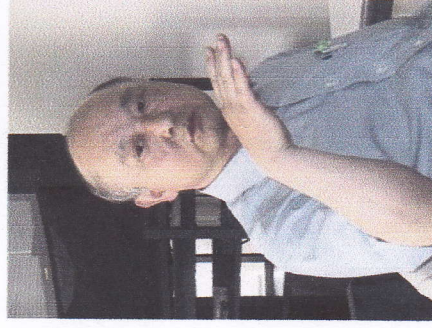
和歌山市あいあいセンター5階(センターみらい研修室)

(和歌山市小町29番地 電話 073-432-4704)

2011年3月11日の福島原発事故から2年半が過ぎました。現在、日本で稼働している原発はゼロです。「福島第一原発」は壊滅的な危険を孕んだまま、汚染水問題が大きく報道されています。8月8日に汚染水流出政府試算を一日300トンとしたマスコミ報道がありました。東電と政府は汚染水の処理の手立てがなく、海に放出せざるを得ないことは前からわかっていたはずですが、オリンピックのプレゼンで安部総理は「汚染水による影響は、福島第一原発の構内の0.3平方キロメートルの範囲内で完全にブロックされています」「状況はコントロールされている」と世界に向けて真っ赤なウソを宣言しました。私たちは本当の事を知ることが大切です。国や関電に対する裁判や政府交渉等を精力的にされている小山英之氏に来て頂いて話を聞きます。ご参加下さい。

誰でも参加できます。参加費200円

【主催】 原発がこわい女たちの会・連絡先⇒ 松浦 (073-451-5960)



講師 プロフィール

1967年大阪大学大学院理学研究科博士課程(素粒子論専攻)終了。大阪府立大学工学部数理工学科で脳神経システムの数理解科学的研究などを行い、講師として定年退職。スリーマイル島原発事故を契機に、原発新規立地に反対する運動に参加。91年の美浜2号機事故を契機に「美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会」を結成。同年、高浜2号機の蒸気発生器問題で大阪地裁に提訴。99年、MOXデーター不正事件で大阪地裁に提訴。全国のプロサーマル問題や六ヶ所再処理問題に関与。2000年12月福島第一原発3号機用MOX燃料の使用差止め仮処分申請(福島地裁)で証人として法廷に立つ。